

## 公開講座 欲しい暮らしは自分で創る。トセノイエ創業までのストーリー



講師：鈴木 美朝 さん（八戸ゲストハウス トセノイエ オーナー）

青森県十和田市生まれ。三本木高校、法政大学社会学部卒業。大学在学中はイタリアでのインターンシップやアメリカ留学を経験。卒業後、国際見本市を主催する会社に勤務し、メーカー・商社などの販路拡大の機会を創出。2022年春に退職、八戸市にUターン。曾祖母の住んだ空き家を改修し、10月にゲストハウス「トセノイエ」開業。2023年12月、33年間地元の方々に愛された「せんべい喫茶」の常連客を引き継ぎ「喫茶へバナ」として開業。

## ▶ 創業までのストーリー「トセノイエ」

新型コロナウイルスの影響で、働き方や暮らし方を見直す中、沖縄に1人旅して出会った人たちや、青森県の先輩女性起業家との交流を通じて、自然豊かな地元にUターンすることを決意する。「旅人と地元の人が交流を通して多くの価値観に触れて欲しい」という思いで、クラウドファンディングに挑戦し、かつての曾祖母の家をリノベーションしてゲストハウスを開業する。

「トセノイエ」の由来は、家族が集い賑やかだったトセおばあちゃんの家で、八戸らしい暮らしを旅しながら体感できるところから名付けた。近くの八戸三社大祭や八戸えんぶりのお祭りにゆかりのある歴史的な神社や八戸の郷土料理「南部せんべい」の匂い漂う街を散策できる。

また「喫茶へバナ」は、希薄化してきている地域で、温かく美しいコミュニティある場所を無くしてはならないという思いで開業する。



## ▶ 私がやってきたこと「多様な人が交流する場をつくる」

「トセノイエ」では、まち案内をして八戸の良さを紹介したり、まちおこし団体や八戸地域おこし協力隊と一緒に、各種イベントも企画し実施している。

「喫茶へバナ」では、お年寄りや若者対象の音楽ライブを開催したり、地域の子どものための子ども食堂を開催したりしている。さらに国際交流のために、田植えや料理教室を開催するなど、活動は多岐に渡り多様な価値観を持った人たちが交流できる場所をつくっている。



## ▶ 今後取り組みたいこと「美しい文化をどう守っていくか」

つねに『美しい文化をどう守っていくか』をテーマとして考えている。青森県は、南部も津軽もいい素材や文化がたくさん残っていて、その多様さがとても美しい。人口減少や社会課題があるなか、コミュニティづくり・地域づくりのために、これからも世代交流の場をもっとたくさん作っていききたい。

## ▶ 最後に

幼いときから多様な価値観のある大人のコミュニティに属したかったという思いがあった。だからこそ今、地域の子どもたちに様々な機会をつくってあげたい。これからも地域の皆さんを巻き込みながら、コミュニティの拡大・継続を目指して、みんなの笑顔のために活動していきたい。

## 参加者の声

- \* 自分を取り巻く周りの方々と、置かれた環境で、何ができるのか、何をしたいと今思うのかを、今一度考える機会となりました。
- \* 地域と関わりながら運営していくゲストハウスに憧れだけではないことに気づき、自分でやってみたいという気持ちが高まりました。